

令和 7 年度第 3 回奈良市プロポーザル採否審査会会議録				
開催日時	令和 7 年 5 月 2 3 日（金）午後 1 時 1 5 分から			
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 秘書広報課会議室			
出席者	委員長	鈴木副市長		
	委員	真銅副市長 小西総務部長 中岡法令遵守監察監 谷田市民部長 下谷都市整備部長		
	事務局	契約課長 補佐		
開催形態	公開（傍聴人 0 人）	担当課	文化振興課	
議題 又は案件	なら 100 年会館改修基本計画策定支援業務			
決定又は取り纏め事項	採用			
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等				
1. 議事の概要				
(1) 業務の目的				
本業務は、施設設備等の経年劣化が進む、なら 100 年会館の改修については、大規模かつ専門的になることが想定され、改修の実施にあたっては基本的な考え方を示す計画が必要となる。施設の現状と課題を踏まえた実効性の高い計画を策定し、継続して市民に利用いただける施設づくりにつなげるために、現況の調査を行い、改修必要箇所の精査、課題の抽出等を行ったうえで、同館の改修基本計画を策定するための支援を行おうとするものである。				
(2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由				
劇場・音楽堂であるなら 100 年会館は、照明や吊物などの舞台関係設備を有しており、改修においては一般的な建物とは異なる専門性が求められ、同施設の改修基本計画策定にあたっては実績等にも裏付けられた専門的な知見やノウハウをもつ事業者による支援が必要である。改修計画策定にあたっては将来的な施設活用の視点から、同施設が本市においてどのような役割を果たしているかを分析したうえで、将来的な機能の検討まで含めた改修計画案が、本事業の成果として求められる。具体的な企画提案には、市民や利用者のホール施設に対するニーズ把握、適切かつ効率的な施設の現況調査手法、将来的な維持コスト算出も踏まえた改修の優先順位の提案などが想定され、実績や能力などを総合的に比較したうえで専門性を有する事業者の選定を行うべき事業と考えるため、公募型プロポーザルを採用する。				
2. 審議				
受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。				
3. 結論				
プロポーザル方式について採用とした。				